



# オリーブ通信

2022年  
1月号  
2022.1.8発行  
第239号



## イベントのお知らせ

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

### オリーブ新春の集い

2022年 2月5日

昨年はお習字をしました。  
今年は折り紙を折ってみよう！  
新年の目標も発表しよう！  
と、いうことで。



あまり複雑でなく、楽しくできる事を皆で考えました。  
詳細は鋭意企画中。

一年の抱負を立てる、ということは海外でも行われているのでしょうか？  
そんなお話を生徒さんたちと交わしながら、企画していきます。



## 中川先生のへんてこ日本語

### 席エチケット

136



筆者は、通勤にJRを利用してはいる。コロナ禍前までは、次のようなアナウンスをよく耳にした。携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定の上、通話をご遠慮ください。」

携帯電話がスマホにとって代わってからは、すっかり聞かれなくなつた。スマホは携帯電話に比べて電波が弱いため、身体への影響が少ないらしい。それに代わって聞こえてくるのは、車掌さんの、車内での会話は極力ご遠慮いただき、マスクの着用、〇〇〇に引き続きご協力お願いいたします。」〇〇の部分はどうも聞き取れない。「エチケット？」「セキユケツト？」何度聞いても、車掌さんが代わっても聞き取れない。同じような母音が続いているためだろう。

何度か聞いて、おそらく「席エチケット」ではないかと推測し、駅の改札口で駅員さんに確認してみた。車掌区に電話で問い合わせてください、数分後確かに「席エチケット」と返答があった。

車掌さんの活舌がよくないこともさることながら、こんな場合は、席でのエチケット」とすればどうだろうか。席エチケット」なる聞き慣れぬ言葉は、余計に聞き取りにくくなる。

おそらく元の原稿を作った人には、文字で確認しているために意味理解はできて、どう聞こえるかには全く無頓着になっているのだろう。

それにしても、毎日多くの人が利用しているJRだが、こんなことに気付いているのは筆者だけだろうか、あるいは筆者だけが聞き取れなかったのだろうか。聞き取りにくいアナウンスは、アナウンスの意味がな

い。

車内アナウンスは、聞き取りやすいよう、引き続きご協力お願いいたします。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

# あたらしい仲間(なかま)を紹介します。

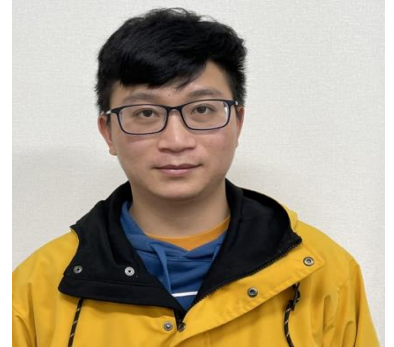


ファミ ゴック ハン  
(ベトナム)

日本に来て4年です。今まで自分で日本語を勉強してきました。オリーブで日本語をもっと覚えたいです。

レ ダック トウアン  
(ベトナム)

私はオリーブにきて会話を練習して上手になりたいです。  
いろいろな国の方と友達になりたいです。



ダオ クアン ハイ  
(ベトナム)

日本語の会話を上達させたい。  
JLPT2に合格したい。

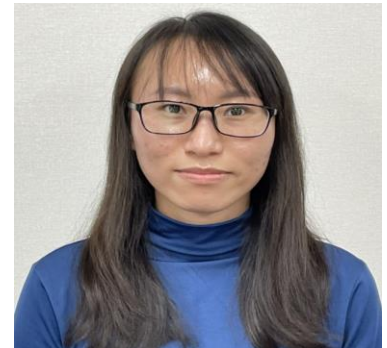


グエン ティ トウ  
(ベトナム)

会話が勉強したいです。

ヴォー ティ フィン ミー  
(ベトナム)

日本語が上手になりたいです。  
日本人と話したいです。  
日本で旅行に行きたいです。



ヴー ティ キム オアン  
(ベトナム)

日本語が上手になりたいです。  
N2を合格したいです。日本人と一緒に話したいです。  
いろいろなところに行きたいです。



ファミ コン フィ  
(ベトナム)

N4の勉強がしたいです。

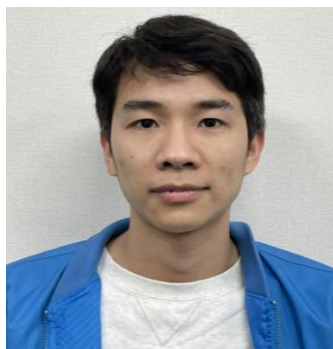
グエン タイン トア  
イ  
(ベトナム)

日本語のN2に合格  
したいです。



ヴー ミン ダン  
(ベトナム)

会話が勉強したいです。



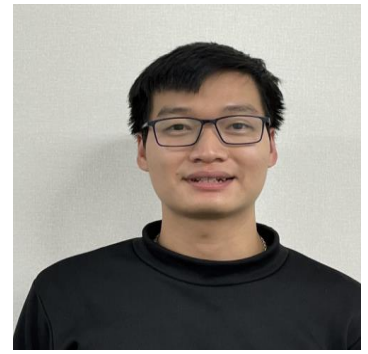
レー ユイ フォン  
(ベトナム)

日本の文化を理解したい  
です。



ゴーバンキエン  
(ベトナム)

N2を勉強したいです。



ゲンドアン  
(ベトナム)

日本語は難しいですが、面白いので、うまく話そうになりたいです。

グエンミン トウアン  
(ベトナム)

日本語を自然にしゃべられるようになりたい。



# リレーエッセイ



今回、受付してくださっている 寺井さんをお願いいたしました。文章を書くのが好きで、「滋賀作家」に参加。草津市の花「じごく花」のお話を書かれています。  
\* 友禅染に欠かせない つゆ草 のお話です。

## 「オリーブ参加の経緯」 寺井一二三



今回はスタッフの一員として私がオリーブに所属することになった経緯を記すことにします。話は20数年も昔に遡ります。当時、2人の息子は社会人となり家を出ました。私は長年の専業主婦を卒業し、事務員は2人の小さな工場で働きました。もう1人が森本まち子さんでした。彼女とは年齢差を超え仲良くなりなした。当時、工場にはブラジルの方が数名働いていました。彼女は彼らからポルトガル語を習い、日本語を教えていました。そしていつかオリーブで活躍されていたのです。その後、ご主人の転勤で彼女の故郷・熊本へ。2016年4月、熊本に大震災が発生。テレビからは被災地の悲惨な状況が刻々と伝わってきます。彼女の携帯番号を失念していた私は、もどかしい思いを募らせていました。そんな時、ふと思い出したのです。彼女がオリーブの話をする時「恩地さん」の名前があったことを。昔、キーファーの代表者だった山本敏夫さんとは個人的にお付き合いがあり、恩地さんの携帯番号を調べていただきました。そして私は見知らぬ恩地さんに電話をしたのです。恩地さんから教えて頂いた携帯番号は繋がり、彼女の無事が確認できました。「手に入りにくいものを送るよ」との申し出に彼女は「お言葉に甘えて離乳食を……」と。彼女の家族に乳児がいるはずもないのに。「大人ばかりの我が家は、遠方へも買い出しに行けるし、我慢も出来る。でも乳児を持つお母さんは大変なの」と。彼女らしい言葉でした。彼女の希望通り、離乳食を送りました。昨年、ひよんな所で恩地さんに出会いました。珍しい姓だからもしかしたら、と聞いてみると「オリーブの恩地さん」でした。「土曜日の夜は何をしてる？」の問いに「テレビ三昧かな？」と私。日本語すら正しく話せているか、疑問のある私です。教えるのは無理です。でも何か役に立つのなら…と受付係としてお邪魔することになった次第です。

でも、第1土曜日の午後は大津市生涯学習センターで滋賀作家クラブ(同人誌)の例会があります。この会は2021年に60周年を迎えました。記念行事として全国からエッセーを募集したところ北は北海道から南は九州まで100編が届きました。第3土曜日の午後は守山市立図書館で滋賀県児童図書研究会の例会があります。こちらは2021年に50周年を迎え、記念誌を発行しました。

双方の会で会計を担当している私は帰宅が遅くなることもあります。

時間的に大丈夫かな、の心配がありました。例会終了後の友人とのティータイムを少し短くし、帰宅せずにキラリエに直行することで問題はクリアできています。

ところで森本さんは、熊本では外国人と言えば中国人。ポルトガル語は出番なしだそうで、中国語を学んで教える資格も取ったとのこと。彼女は今、熊本で輝いています。

なんのスキルもなく、物覚えが悪い(勝手に後期高齢者という歳のせいにしてます)私を受け入れて下さっているオリーブの皆さんに改めてお礼申し上げます。

彼女とおしゃべりに花を咲かせていた頃、やる気さえあれば、なんでも出来ると思っていました。今は無理なことは無理と見極めて、出来ることを出来る範囲でやろう、と思っています。



### 先月の活動 (12月)

日本語教室

12/4(M) 12/11 12/18 12/25 (4回)



### 今月の予定 (1月)

日本語: 日本語教室

1/8(M)、1/15、1/22、1/29

### 参加人数(12月)

	12/4	12/11	12/18	12/25
生徒	23	27	38	14
先生	22	25	28	18



### 会員の動き

〈退会〉無し  
〈入会〉



## びわこ日本語ネットワーク (BNN:Biwako Nihongo Network) 「第18回 外国人による日本語スピーチ大会」

・・・つたえよう 私のおもい・・・  
応募要項

開催日時 2022年3月6日(日) 13:00~16:30  
会場 草津市:草津アミカホール  
〒525-0034 草津市草津3丁目13-30 ☎077-561-2345  
目的 日本語学習をする外国人の思いや意見を聞き、外国人との共生に向けて相互理解を深める。また、外国人学習者に学習成果を披露する場を提供し、学習意欲向上への一助とする。  
内容 外国人による日本語スピーチ大会  
応募資格 滋賀県在住、または在勤在学中で日本語を母語としない人  
県内の日本語教室で日本語を学んでいる人  
過去にBNN主催スピーチ大会で受賞したことのある人は除く  
応募規定 ①テーマは自由  
②スピーチは1人6分以内  
③スピーチ内容は未発表のものに限る  
④申込時にスピーチ原稿を提出する(郵送、またはeメール)  
応募締切 2022年1月15日(土) 当日消印有効  
出題者の決定 2022年2月15日(火) までに原稿審査の結果を郵送で応募者に通知する  
参加料 無料  
表彰 最優秀賞(滋賀県知事賞)・優秀賞(草津市長賞・BNN賞)・奨励賞(公財)滋賀県国際協会会長賞  
問合せ先 びわこ日本語ネットワーク事務局(Tel: 077-523-1061)・県内各日本語教室  
申込先 所定の申込み用紙に必要事項を記入の上、スピーチ原稿を添えて郵送のこと  
びわこ日本語ネットワーク(BNN)事務局へ郵送またはeメールで送付のこと  
びわこ日本語ネットワーク事務局(〒520-0006 大津市滋賀里1-13-18)  
E-mail: [bnn.biwako@gmail.com](mailto:bnn.biwako@gmail.com)  
主催 びわこ日本語ネットワーク(BNN)  
協力 公益財団法人 滋賀県国際協会



### 編集後記



これを書いている12月後半は大雪。仕事終わりギリギリの12/27 12/28はテレワークでした。

さて、2021年、オリーブ内で大きな出来事といえば、8月から10月までの長い休みでした。

昨年からいろんな活動が出来るようになってきました。書道教室、遠足等。

2022年も少しずつイベントが出来るようになってくると良い。

日本語教授法にも参加したい。新しい変異ウィルスが出ても、活動を続ける工夫が出てくると思うので、2022年はもっとイベントが出来るでしょう。

